

福岡ライオンズクラブ
50年のあゆみ



The
International Association
OF
Lions Clubs
CHARTER

To All to Whom These Presents Shall Come:
GREETING

Know Ye that The International Association of Lions Clubs has granted, and by these presents does grant to the Members, whose names are hereunto affixed, and to all regularly elected members and their successors, this Charter fully constituting them a Local Club, under the name and title of

THE LIONS CLUB OF
Fukuoka

located at Fukuoka, Japan, with all the rights and privileges given to members of The International Association of Lions Clubs, according to the rules and regulations of the constitution and by-laws of the International Association now in force, or hereinafter enacted. This Charter shall be in full force and effect from the day of the date hereof, and for such time as the Members of this Local Club shall conform to the laws and rules of the International Association. Otherwise this Charter shall be revoked.

In Witness Whereof, The International Association of Lions Clubs has authorized its President and Director-General to affix their signatures, and caused the seal of the Association to be hereunto affixed this 15th day of September, in the year of our Lord 1955.

R. Ray Keaton
DIRECTOR-GENERAL

[Signature]
PRESIDENT

Charter Members

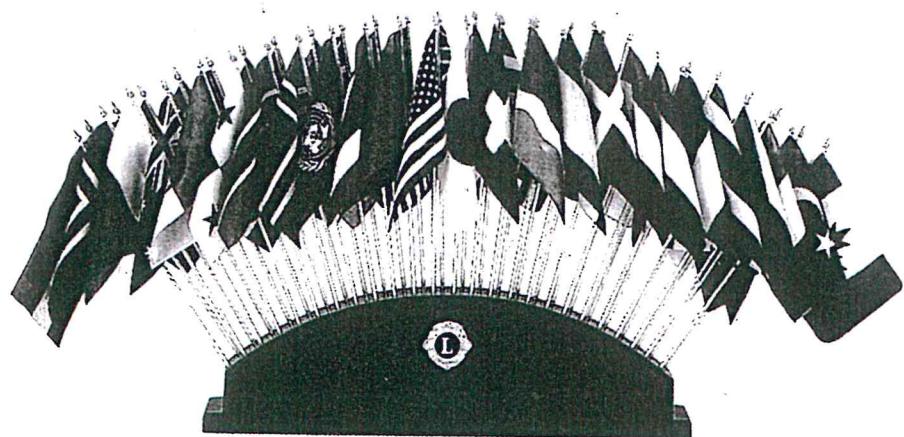
創立会員

司見賀一生直	之郎和成潔	塙寛郎至男介	太郎底脩一
森海生賀根正	義徳宗正	見林漢本島内	政次香与直
杉打麻古楠福	天久尾三	地若清恭貝山	北方藤屋神島野
			北間土石小平





福岡ライオンズクラブ旗





チャーターメンバー

福岡ライオンズクラブ・10年のあゆみより

	氏名	退会			氏名	退会	
1	杉森司			14	瓦林潔	38.7.17	福岡中央Cに転籍
2	打海晃	33.11.27	大阪に転住	15	貝島文男	38.5.	退会
3	北方政太郎	40.6.15	福岡博多Cに転籍	16	小島与一		
4	天児民和			17	福山正直	38.7.17	福岡中央Cに転籍
5	間藤次郎			18	三原道也		
6	古賀徳一	38.3.	長期療余の為	19	山内藤介	33.4.	東京に転住
7	清沢又四郎			20	若林寛	34.3.12	"
8	久野泰成			21	貝島義之	38.7.17	福岡中央Cに転籍
9	倉成敬二郎	31.3.27	病死	22	土屋香鹿	32.3.	退会
10	池見茂隆	38.7.17	福岡中央Cに転籍	23	平野貞一	39.1.19	"
11	萩本至	35.11.28	退会	24	麻生義太賀	"	病死
12	石神脩			25	松野尾繁雄	31.2.1	退会
13	楠根宗生	38.7.17	福岡中央Cに転籍				

現在、50周年を迎え、L.土屋香鹿が退会後昭和40年、福岡博多ライオンズクラブに入会、在籍されている。ほかは故人となられました。

福岡ライオンズクラブ 第1年度 1956年

幹事 北方 政太郎

結成までの辛苦は何処のクラブも同じであろう。また結成されてクラブの歩みが始まって先ず第1に会員の頭にのしかかって来る心配は、チャーターナイトであろうこともまたいざれのクラブでも同じであろう。わが福岡クラブも例外ではあり得なかった。誰1人として他クラブの例会を見て来た人もなければ、他クラブのチャーターナイトに出席した者もない。神戸、広島、岡山のチャーターナイトプログラムを集めて、ああこうかと話し合うこと幾度。そのうちにどうやら準備の方向が定った。その間に例会のもちろんどうやら軌道に乗って来た。日本的なあり方を考えた末に、正面に日の丸とライオンズの旗を吊してその方をむいて、君が代とライオンズ讃歌を歌つてから食事。その間に幹事報告、各委員会の報告、それから卓話。その後四方山の雑談が語られた。雑談といつても人数も少なく、雑談も皆に聞えるとゆう決してがやがやではない雑談であって、次の卓話者がこの席できる事も珍しくなつたし、チャーターナイトの話合もこの席で、だんだん話がかたまつたといってよかつた。チャーターナイトが近づくと、会員の殆んどは、毎日の様に出て来いろいろの準備をすすめた。

その間に会員は日を追うて増加して來た。結成準備の時にリストに載っていた殆んどの人が相次いで入会して、いざチャーターナイトの時の会員数61名。

9月24日午後6時より帝国ホテル大ホールで、装飾も今から思えば質素に北方幹事の司会の下に始められた。メンバー57名、同伴者55名、市内来賓24名、ライオンズ関係来賓53名、計171名。クラブ公式記録は「次第」として次の様に記している。

午後6時定刻となり司会者北方幹事より開会を告ぐ。開会の挨拶チャーターナイト委員長土屋香鹿、君が代合唱(1回) (出席者一同) ライオンズ讃歌(ライオンズ1回) 来賓紹介副委員長L貝島。

祝辞 ライオンズ国際協会の祝辞を国際代表パレネンゴア氏より、日本語にて述べられ、スポンサークラブの祝辞を神戸LC会長天児民博氏が自席に立ってマイクせられた。

チャーターの伝達は、国際ライオンズクラブ協会日本地区ガバナー進藤竹次郎氏と福岡クラブ杉森会長が登壇、満堂の拍手裡にチャーター伝達があつて、進藤ガバナーは、世界及び日本に於けるライオンズクラブの沿革並びに活動の状況を述べ、福岡クラブの発足を祝し、福岡クラブ杉森会長は福岡61名の同志のライオンズ精神の堅持及び社会に対する奉仕の決意を述べ、来賓各位の援助を乞うた。

次いで来賓祝辞となり、カウンセラー岡部五峰アメリカ領事ゼームス・マーチンの祝辞の中途、ライオンズローラーの音頭をとり、和やかなどよめきを与えた。市長小西氏、商工会議所会頭代理奥村氏、ロータリークラブ会長真貝氏の祝辞、祝電披露のあと岡山クラブ会長L原の発声でライオンズローラーの大獅子吼して第1部を終る。第2部は晚餐であるが、宴中ばに京都ライオンズクラブ会長L熊谷、地区幹事L坂田、広島クラブ会長L寺田のユーモラスなテーブルスピーチがあり、司会はL貝島の手に移され、同氏は“博多二〇加”式の司会の下に余興が行なわれ、出演者はすべてこれライオン或はライオンの家族である。この事は来会者に大きなか

深い印象を与えた。翌日は32名がバスに乗り市内及び太宰府方面の遊覧に招待して午後2時半ホテルに帰着、皆さんと別れを告げた。

と記載されている。

10月に入るや、アジア文化財団のロバートホール氏とL石川欣一の来訪によって、学生奨学資金の話が始まり、九州大学の学資の乏しい優秀な学生5名に奨学金を贈るアクチビチーが本クラブアクチビチー第1号としてその第一歩がふみ出し、アジア財団は1年間で止めた、本クラブだけは6年間継続した。

その他、新潟大火の見舞、名瀬の大水罹災民への見舞金等、例会席上発表と共に即座にポケットマネーを拠出して送金するとゆう様なアクチビチーが行われた。

バーズデー祝品の贈呈、ライオンはそれに対してファインを出すこと、クリスマス家族懇親パーティー、各地のチャーターナイトになる可く出席する。久留米クラブのスポンサーとなるなど、ほぼクラブの歩みはしっかりととなって來た。

第2回302地区年次大会が大阪で開かれた、20名のライオンと同伴6名が出席した。はからずも1955-56年度に於ける最優秀クラブとしてわがクラブは栄誉の表彰旗を授与された。第一回年次大会にはこうした事がなかった由で福岡クラブは初年度に於て日本で最初の表彰を受けたわけである。この事はわがクラブ員の奉仕に対する決意を益々固からしめるに役だつたと思われる。

それよりもわがクラブ員が驚いたことは5月25日シカゴの協会本部からの一通の電報である。

TSUKASA SUGIMORI PRESIDENT FUKUOKA LIONS CLUB
HAPPY TO INFORM YOU THAT FUKUOKA LIONS CLUB WINS
FIRST PLACE INTERNATIONAL MEMBERSHIP CONTEST
PRESIDENT TROPHY AND LIONS INTERNATIONAL
PROGRESS BANNER WILL BE PRESENTED TO YOU OR
CLUBS REPRESENTATIVE AT INTERNATIONAL
CONVENTION IN MAIAMI LETTER FOLLOWS
TRANSMITTING 300 DOLLARS CHECK ADDITIONAL AWARD
R ROY KEATON DIRECTOR GENERAL LIONS
INTERNATIONAL

即ち国際会員増強コンテストで世界第一位となつたのである。会長カップとライオンズ国際協会優勝バナーがわがクラブにマイアミに於ける国際大会席上贈られるというのである。尚副賞300ドルの小切手はおつかけて航空便で送つて來た。

しかし会長L杉森も他の誰もわがクラブの代表としてマイアミの国際年次大会に出席し得なかつたので、進藤ガバナーを代理に依頼して受領を受けた。

かくして第一年度はよちよち歩きに始まって、しっかりした足どりとなり、一人前のライオンズクラブに育つて行つた。と共に輝かしい足跡を残し得たということが出来よう。副賞の300ドルは翌々年会員の出資を加えて小鳥の放鳥大禽舎を設立して福岡市動物園に贈つた。

10周年までの記録
<302西地区第7回国際ライオンズ年次大会>
 1961.4.21~24



第1日

- ・代議員会
- 福岡スポーツセンター

第2日

- ・式典
福岡スポーツセンター
入場式 AM 9:30~ 10:10
式 典 AM10:20~PM0:30
余 興 PM 1:00~ 2:30
・パレード PM 3:00~PM5:00
・ガバナー晩餐会
PM5:30~PM7:30

第3日

- ・朝食会
博多帝国ホテル AM8:00~9:00
各クラブ会員、幹事、
カウンセラー及び地区役員
・エキスカーション AM9:30出発
西公園～大濠公園～筥崎宮～
東公園～太宰府天満宮
・サヨナラパーティ PM1:00~PM2:00
福岡スポーツセンター



302-W地区 ガバナー
貝島 義之
ホストクラブ 福岡クラブ会長
赤羽 善治

〈拾年一昔〉

福岡ライオンズクラブ初代幹事 L 北方 政太郎
福岡博多ライオンズクラブ初代会長



拾年一昔とよく言わ
れるが、正にその感が
深い。1955年(昭30)
初めて九州にライオン
ズクラブが結成される
迄に尽された最大の功
労者は、元国際理事で
神戸クラブの初代会長
だった、ライオン岡部
五峰であることは誰一
人異論はない。

岡部さんに就てはとや角に批評する人々もあるが私はライオンズ精神から賞讃を惜しまない。ジョージ・バレネンゴア国際代表の熱情もさること乍ら、あの困難な時代に一年間も繰返し繰返し来福されて、クラブ結成へと持ち込んだ努力は高く評価し度い。

福岡での岡部五峰さんの定宿であった栄屋旅館主人の倉成敬二郎さんの部屋へ吾々も何回も集まつた。

そして話し合いをしては割勘で飯を食つて散会した。

私は特に倉成さんとは、その7、8年前からの小唄の友達であった関係もあり、しばしば呼び出しが受けた。

そしてL岡部五峰のアクティング・ガバナーとしての任期の満了する直前の1955年6月14日、博多帝国ホテルで11名(写真)の創立委員が集まつて、岡部ガバナーの肝入りで結成式を挙げ、国際本部へは取り敢えず福岡クラブの会長、幹事、会計の三役の名前と福岡クラブだけを電報で通知をして手続を終えた。

チャーターフィーズ(創立会員として国際本部への入会金)を持参した人は、僅かに私を加えて3名だった。

初代幹事を押しつけられた私は、チャーターメンバーは最低25名だと云われて、未だ確実に入会も決定していないくて、当日結成式にも未出席の9名分を加えて計22名分のチャーターフィーズを立替えて支払った最初の記憶が先ず脳裡によみがえつて来る。

そして元国際理事だった大阪のL進藤竹次郎が次期のガバナーになって、其の後が愈々、日本のライオンズの発展期に入るのであるが、現在から考えると本当に日本地区の地区役員は勿論、末端の単位クラブの役員も奉仕の一念に身を挺していた。私は戦時中から終戦迄、福岡市の翼賛壮大団の本部長を奉仕していたが、吾々の考え方では縁の下の力持ちだという精神から、当然奉仕クラブであり、時間も労力も費用も自分持ちだとの観念だった。

進藤ガバナー時代迄は宝塚の進藤さんの自宅をガバナー事務局に使って、有給の事務員も雇つていなかったようだ。

地区会計が自分で事務を執っていたように記憶する。私も二度ガバナー事務局を尋ねたことがある。私も亦、福岡ライオンズクラブの事務所として、私の会社の一部を使って、事務は全部私の従業員にやらせ、電話料(当時は市外連絡が相当多かった)も一切負担して、事務費も全くクラブの支出決算に計上しなかつた。面白いことに最初は国際本部からの書類は全部英文で、返信や報告も全く英語だった。私は英語に弱いので、アルバイトの英語の家庭教師を雇い入れた。

親クラブだった神戸のクラブへ懇意に教えを乞いにも行った。当時の神戸クラブの幹事だった、現在の葛野作太郎日本地区幹事や、ジョージ・バレネンゴア国際代表に色々とクラブ運営について出掛けたのだが、無論旅費も宿料も自弁であることは当然だった。然しました、それだから岡部先輩も私達を塩屋の自宅に招かれて、家族ぐるみの歓待をして下さった懐かしい憶い出もある。

当時はライオンズクラブと云っても九州では西鉄ライオンズの方が余程有名で人気があった。よくひやかされたもので西鉄ライオンズの後援会と勘違いされたので、私は独断だったけれど、一切の印刷物に国際ライオンズ、福岡クラブと呼称することに決めた。

後にこの呼称に就て、カバナーキャビネットで問題になったことがあるが、私はこの実情を説明して諒解を求めた。私への賛同者もあって不問のままになつたが、現在でも対外的にPRする場合は国際ライオンズ○○クラブと称し、対内的(クラブ同志間の)連絡文書には○○ライオンズクラブと称することを去る8月2日の福岡、博多両クラブの十周年記念式典とチャーターナイトの合同委員会で再確認された。

この様にして生れ、育った福岡クラブの初代会長は産婦人科の病院長杉森司ライオン、会計は当時山一証券福岡支店長の打海晃ライオン、それと幹事の私、この三人は實に良いコンビだった、また苦労も多かつたが楽しかった。創立後、暫くして現在のカウンセラー貝島義之ライオンが入つて来て、モリモリと会員獲得に奔走し始めた。それが大きく原因してその年のメンバーシップ国際コンテストに第一位に入賞したが、之は其の当時、全く思い掛けぬ僥倖だったことで、意識するもしないも、その頃そんなコンテストがあることを知らせて貰っていないし、ジョージ・バレネンゴア国際代表も教えて呉れなかつた。

進藤ガバナーも国際本部から内示があつて初めてこの栄誉を吾々と共に知つた訳で、誰か福岡からアメリカのマイアミで開催されるライオンズ国際年次大会に代表受賞者として渡米してはどうかとの話はあつたが、その頃渡米の手続は現在の様に簡単ではなかつた。今なら急ぐ場合は、アメリカ領事館に話せば十日間で一切の渡航手続を完了させる自信もあり、防疫注射のことも訳はないが、6月の大会に5月末日に通知を受けたのでは、どうにも仕様がなかつた。杉

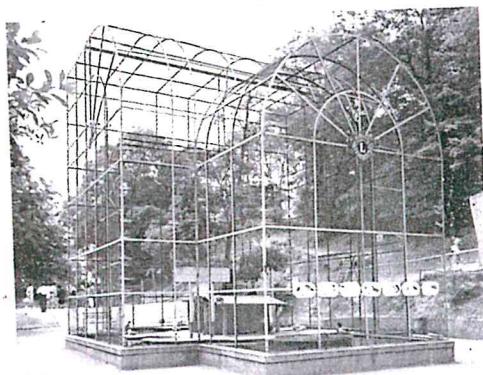
10周年までの記録



1955.9.24 チャーターナイト・博多帝国ホテル



チャーターナイト会場



1955～56年度アメリカマイアミにて
開催された第40回世界年次大会
INTERNATIONAL MEMBERSHIP CONTEST
第1位に入賞を記念して福岡市動物園に
大放鳥舎を建設。



1960～61年度第7回年次大会
ホストクラブ記念として福岡市の中心、
西中洲水上公園に噴水池を建設。



認証10周年記念式典。
福岡博多ライオンズクラブ認証伝達式合同式典



福岡ライオンズクラブ創立
10周年記念アクティビティ
福岡市・福岡クラブ号（冷暖房付最新鋭救急車）

20周年までの記録



福岡県警にパトカー寄贈
福岡ライオンズクラブ号 トヨタカローラKE10型 1967.4.12
かねて安全委員会を通じて申入れのあった、
福岡署に対するパトロールカーの献納式が、
去る4月13日博多帝国ホテルにおいて盛大に
挙行された。



市民の森キャンプ場献納 1968.12.26



ライオンズ国際協会302-W3地区
第16回年次大会 1970年4月4日・5日



代議員会における議長
ガバナーL.杉森司

302-W3地区第16回年次大会は、福岡ライオンズクラブに在籍の地区ガバナーL.杉森司、地区幹事L.倉八房門ならびに福岡市内6LCのホストクラブにより1970年4月5日・6日、福岡市薬院九電記念体育館において、2,400余名の大会参加者を得て盛大に挙行された。



継続アクティビティとして1974.3.2
第1回少年少女俳句募集表彰式が行われた。

第1回少年少女俳句募集入選者表彰

<金賞>

●新薦に 埋もれて単語 暗誦す
多々良中 3年 鷺見 一也

<金賞>

●霜やけの 手のクリームの よいかおり
怡土小 6年 古藤 孝子

福岡ライオンズクラブ20周年を迎えて

福岡ライオンズクラブは昭和30年9月神戸ライオンズクラブのスポンサーによって認証されました。本日は多數の来賓をお迎えし、親クラブ神戸ライオンズクラブ向井会長始め多数の会員並びに当地区ガバナーおよびキャビネット関係のライオン各位のご臨席を得、且つ又多数のプラザークラブの暖いご支援を受けて福岡市内10クラブ合同例会の形式により福岡LC20周年の記念式典をあげることが出来ますのは福岡LC全員の終生忘れることの出来ない喜びであります。親クラブ神戸LCは東京横浜に次いで三番目のクラブであり西日本に於けるLCの本家であります。

又神戸LCの故葛野作太郎ライオンはわれわれが例会で唄う「ライオンズヒム」および「又会う日まで」を日本語に訳詩された貴重な方であります。福岡LCは認証後久留米、北九州、直方、熊本、八幡、若松、別府、大牟田、佐賀、福岡中央、福岡博多、福岡鶴城の12LCを増強し、それらのLCが更にエクステンションを次々と行ない、九州でも最大の奉仕団体となりました。又福岡LCの第2第3第4代の会長を歴任された現国際親善大使貝島義之ライオンのご活躍は世界LCの驚異とされております。尚本日会員各位に記念品として進呈しております巾の広いネクタイピンは福岡ふようLCの前会長であり商業デザイナー界の権威者西島伊三雄ライオンのデザインによるものであることをご披露申し上げます。当LCは単独アクティビティとして市民の森にホルトの樹を樹えることになりました。ホルトの樹は炭酸ガスを最も多く吸収して酸素を最も多く吐き出すという人類にとって誠に結構な作用をする樹であります。20周年を機に福岡LC全会員は一層活発にライオンズ精神を推進發揮して行くことを誓約致しますと共に本日多數で参会頂きました来賓並びにライオン各位の友情溢るるご好意に対して深甚の感謝の念を捧げてご挨拶と致します。

昭和50年9月24日（1975）

福岡ライオンズクラブ20周年記念式典

大会委員長 L.杉 森 司

大会会長 L.藤 田 正 紀

実行委員長 L.中 島 得 二

大会幹事長 L.土 屋 呂 武



と き 昭和50年9月24日 13時30分（登録開始 12時30分）

場 所 九電記念体育馆（福岡市中央区薬院4丁目）

登 録 料 会員および同伴 各3,000円

（但し福岡市内クラブ員は福岡Cを除き2,000円）

参加見込人員 1,400人（実績1,484人）

実 行 の 基 本 式典はライオンズの本質に鑑みその原点にかへり簡素に厳肅に費
に亘らず真に意義あるものとする

30周年までの記録

福岡LCより昭和36年（1961）
市に寄贈した噴水復元工事に
伴い銘板を作成した。

1982.2
水上公園銘板



水上公園



前国際会長 L.村上 薫 逝去 1982年

ライオンズクラブ国際協会前会長L.村上薰は11月7日午後1時48分、肝硬変のため京都市西京区京都桂病院で逝去、64才。自宅は京都市北区小山東花池町8。

告別式は11月25日午後2時から京都市右京区嵯峨天竜寺芒ノ馬場町68、天竜寺本坊で行われる。

L.村上は1953年京都ライオンズクラブに入会、1964年-65年302-W5地区ガバナー、1977年2月福岡舞鶴ライオンズクラブに転籍、同年6月国際親善大使、1981年6月-1982年7月、日本人として初めて国際協会会長をつとめられた。また、同年7月国連平和賞を受賞。



福岡クラブ初代会長 L.杉森 司 逝去 1983年

337-A地区名誉顧問L.杉森司はかねて病気療養中のところ1月29日午後10時35分逝去。84才。自宅は福岡市南区高宮5丁目18の35。

葬儀は2月5日午後2時から福岡市中央区古小鳥町、積善社福岡斎場で行われ、337-A地区ガバナーL.上原有城はじめ多数のライオンが参列した。

L.杉森司は昭和30年6月、福岡に初めてライオンズクラブを創立した功績者であり、初代会長をつとめ、また、昭和44年7月から1年間、302-W3地区ガバナーとして活躍されていた。

相次いで逝かれた両ライオンの
功績に心から感謝と哀悼の念を
捧げる。
両ライオンの思い出は尽きない



1983.2.5
故L.杉森 司 葬儀



福岡L.C. チャーターメンバー

L 清澤 叉四郎

「30年のおもいで」

我が、福岡L.Cが、九州最初のL.Cとして発足して、早や30年を閑したとは、何と又速かな事であったかと、83歳も間近と言う自分の年齢も忘れて私は、驚いています。

30年のおもいでと言う題を800字程度にまとめよとの事でありますので、詳しい事は既刊の会誌等に譲って、記憶に残ることを少し述べて許して戴きます。

昭和30年の発会当時、私は、友人の初代会長故L.杉森司に誘われて入会致しました。

当時私は、L.杉森と共に県医師会の理事の職にあり、又福岡市医師会をも兼務していましたが、翌81年からは県医師会長として、開業のかたわら責任の重い仕事に就かせられましたので、例会の出席や、福岡L.C員としての活動も出来る範囲内で許して貰いました。即ち、私のクラブ員としての活動は、入会当初から、甚だ制限されたものであります。私は医学医療に関する医師会としての仕事は、社会大衆へのサービスであり、全くライオンズ精神に合致するものと解し、会員の皆さんにも御許しを願い、自分でも出来る限りは、顔を出して会に協力する方針で今日に至りました。我が福岡L.Cの20年のあゆみ誌の83頁に第15期の会長としての私の、拙文を載せていますが、私が年次中途に第一副会長から、突然、会長職に転ぜざるを得なくなつた時には、甚だ困惑致しました。そして、私が到達したものは、入会推薦は極度に慎重に、調査して行わないと取り返しのつかぬ結果を、導きかねないと言う事でした。さて、当初25人のチャーターメンバーで発足した我が福岡L.Cは30年の歩みの間に、14人は他界され又は、転出された方もあって、現在残留会員は、L.天児民和と、私ののみのまことに蓼々たるものとなりましたが、多数会員の皆様の驥尾に付して、クラブの名声を高め楽しい和気藹々たる交流によって、健康で、長寿を続けたいものと念願しておりますので、宜敷く御指導願い上げます。 (60.11.3) 1985

「心温る想い出として(1984~1985)」

吾が福岡L.C30周年記念の感慨が未だ余韻を残しております。

私は19年前の1966年（昭和41年）会員として末席に名を連ね、後20周年、30周年と2大イベントに侍らせて戴き、不肖の身ながらお手伝いが出来ましたことをこの上ないよろこびに思っております。然も中心的な位置での私の務めは非才小心な私にとってかなりの重圧としてのしかかり、人知れず思い煩つたものでしただけに、余計深い感動に浸っております。

昭和59年3月、当然の順位として次期会長に目されておられました、L.日高の健康上の理由から急遽第2副会長の私に会長就任のご指名があり昭和59年7月からの1年間を心の準備のないまま重責を担うことになり、爾来会員諸賢の温いご支援のお陰で在任1年を大過なく務めさせて戴きました。

大変な一年間でした。と申しますのは昭和60年9月吾が福岡L.C結成30周年記念式典が予定されてその準備の年でもあったからで、事実内心これは大変だと吾が心に言いきかせ、精一杯の力をと臍を固めました。早速会長就任早々昭和59年7月より第2例会の終了後直ちに準備委員会を設置し記念式典の準備体制に入り、毎月の委員会にて真剣に討議を繰返し刻々と迫る式典当日へ向け満腔の努力を傾注しました。委員の皆様のご協力に只々頭の下る想いがいたします。

この式典が単なる祭典であってはならない、あくまでもライオンズの精神に則るものとの認識が、緑と心ゆたかな活力の街づくりへの、一助としてのソーラーパワー式時計塔となり、九州交響楽団への文仕向の思いを込めた賛助金となりました。地元に密着したアクティビティとの基本姿勢はこの形で、具現されたと自賛いたしております。総ては会員Lのご協力とご支援の賜と感謝し、この会長1年間が色々の意味において私にとって心温るこよなき想い出として心に残ることになりました。

30年間の歴史を踏まえ今後も奉仕活動に精進し、地域社会の発展と文化の向上により以上の努力を尽くしたいと思います。



会長

L 川上 利明

福岡L.Cチャーターナイト30周年記念式典

とき・1985(昭和60年)9月23日

式典会場

・電気ホール

祝宴会場

・ホテルニュー

オータニ博多



1985.9.23福岡L.Cチャーターナイト 30周年記念式典

歓迎のことば

30!既に伝説の偉人とも云うべきL.杉森、L.貝島などが、神戸ライオンズクラブのスポンサーにより、断乎とした決意と夢あふれながら福岡ライオンズクラブを結成、九州にはじめてライオニズムの炬火とともにさてから今30年の星霜がたちました。

その焰は奉仕の精神に人々の情熱と誠意を昇華させながら、友は友を呼び、クラブは更にクラブを生み、今や九州沖縄にクラブ数333、ライオンズ18,150名余と発展し、更に人々の気を漲せながら明日への発展と活動に血を躍らせております。——今日生誕の日9月23日。この日を記念して皆様と共に式典を催し祝宴を展げたいと存じます。

皆様!本当によく来ていただきました。数々の御来賓、ガバナーはじめキャビネット関係のライオン及び各地のライオン各位、遠くは海外ブランザークラブ、韓国釜山中区ライオンズクラブの方々まで喜びを俱にしていただくとは何と云う感激でしょう。感謝の言葉もございません。

式典では私達がアクティビティとして支援する九州交響楽団の見事なシンフォニーを楽しみ、又同時に私達の心のこもった記念アクティビティを御報告したいと思います。

今日、この式典を機会に私達は今日迄ライオニズムに献身し福岡クラブの飛揚を支えてこられた先輩達に改めて深く敬意を捧げつつ、更に明日からの新しい奉仕への出発を誓いたいと存じます。

私共の限りないライオニズムへの前進にかわらぬ御支援と友愛をお願いして御挨拶いたします。

福岡ライオンズクラブチャーターナイト30周年記念式典

大会会長 L.土屋 呂武

式典次第

(14:00~)	司会 大会幹事長 L.谷岡 信男	12.同賀辞.....	福岡市長 進藤一馬 殿
1.開会宣言.....	大会会長 L.土屋 呂武	13.来賓祝辞.....	福岡市長 進藤一馬 殿
2.開会ゴング.....	大会会長 L.土屋 呂武		337-A地区ガバナーL.井澤 鐘雄
3.国旗に敬礼.....	大会幹事長 L.谷岡 信男		釜山中区L.C会長L.卞 鍾吉
4.ライオンズクラブの歌.....	大会幹事長 L.谷岡 信男	14.スポンサークラブ祝辞.....	神戸(ホスト)L.C会長L.阪上 豊
5.米賓並びに地区役員紹介.....	大会幹事長 L.谷岡 信男	15.エクステンション・L.C代表の記念品贈呈・久留米L.C会長L.野中 万二	
6.参加クラブ紹介.....	大会幹事長 L.谷岡 信男	16.祝電披露.....	大会幹事 L.馬場太一郎
7.歓迎の挨拶並びに30年の歩み.....	大会幹事長 L.谷岡 信男	17.謝辞.....	大会副会長 L.松尾 哲也
8.物故者追悼.....	大会会長 L.土屋 呂武	18.ライオンズロア.....	337-A地区4RD-D・G.L.杉原 一志
9.30周年アクティビティ発表.....	大会実行委員長 L.川上 利明	19.閉会宣言.....	大会副会長 L.松尾 哲也
10.釜山中区L.C協賛アクティビティ発表.....	大会実行委員長 L.川上 利明	20.閉会ゴング.....	大会会長 L.土屋 呂武
11.記念アクティビティの目録贈呈.....	大会実行委員長 L.川上 利明		

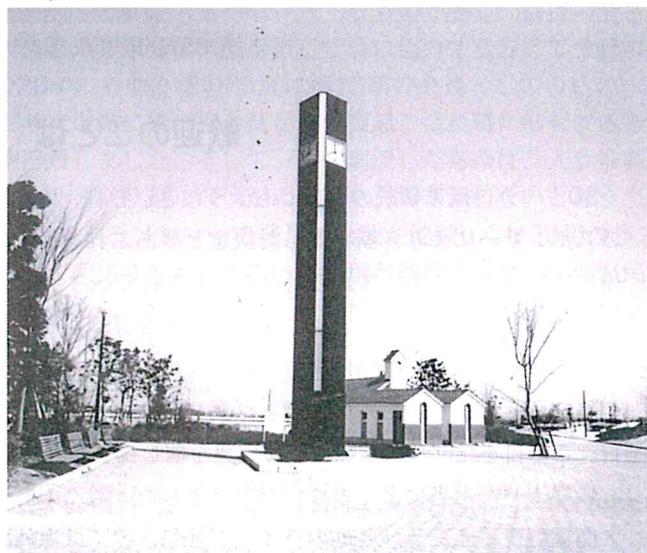
30周年記念アクティビティ

我が、福岡市は「21世紀へつなごう緑と心ゆたかな活力の街づくり」を基本理念としてうるおいとゆとりの街づくりにご努力を尽くされ、その成果に感謝致しております。

そのお手伝いの一つとして福岡市民のレクリエーション並びにスポーツ交流の場でもある西部運動公園にソーラーパワー式時計塔を、そしてさらに創立以来30年その真摯な、演奏活動により、ローカルオーケストラから日本の代表的オーケストラに躍進され、文化の向上に益々のご活動を頂いている九州交響楽団に賛助金として金一封を、以上を福岡ライオンズクラブ30周年記念のアクティビティとしそれぞれお贈りさせて頂きます。



銘板



西部運動公園時計塔

1. 設置場所 西部運動公園（福岡市西区飯盛）
2. 時計塔の内容 高さ12.0m幅1.30m×1.30m（八角形）
時計90cm×90cm四面（ソーラーパワー式）
材質・耐候性鋼板
(酸化鉄被膜を均一に発生させたもので再塗装の必要なし)
四角にステンレス艶消ストライプ

九州交響楽団記念演奏会



1985.9.23 九州交響楽団記念演奏会

指揮者 栗田 哲海

演奏曲目

1. 「詩人と農夫」序曲
ズッペ作曲
2. 美しく青きドナウ
J. シュトラウス
3. からたちの花・待ちぼうけ
山田耕筰
4. 四つの博多の歌
石丸 寛編曲

1995(平成7年9月22日)

於 ホテル日航福岡

40周年式典にあたり 歓迎のことば

40年前、神戸ライオンズクラブにより点火された一灯が、今や全九州に、沖縄23クラブ1,031名を加え、実に403クラブ、20,345名という大きなあかりとなりました。

当時の神戸ホストライオンズクラブの方々と、福岡ライオンズクラブのチャーターメンバーの諸先輩や今日の九州ライオニズムを支えてこられた方々に深甚の敬意と謝意を捧げるものであります。

本日、福岡ライオンズクラブ40周年の記念式典にご来賓の方々、ガバナーを始め、阪神大震災の爪痕消えやらぬ神戸ライオンズクラブの方々、九州はもとより、全国、海外よりブランザークラブの方々の御臨席を賜わり、感激に感謝の言葉もございません。

国の内外、まさに激動の情勢下、ライオニズム40年を省り見る機会を得ましたことは、We Serve50への大きなステップであり、いかに行動し実現化するか結果をとわれるところであります。

限りないライオニズムに向かっての新なる出発の記念すべき日に当たり、皆さまの暖かい友情に心から感謝申しあげますと共に、変わらぬ御支援をお願いし、益々の御健勝をお祈りして御挨拶といたします。

福岡ライオンズクラブ40周年式典

大会名誉委員長 L.土屋 呂武

大会委員長 L.川上 利明

大会会長 L.山田 博巳

大会幹事 L.扇山 和男

40周年式次第

司会 大会幹事 L.扇山 和男

福岡21ライオンズクラブ L.林田 スマ 10:30~11:30

1. 開会宣言及びゴング……………大会会長 L.山田 博巳
2. 国旗に敬礼・国歌斉唱
3. ライオンズクラブの歌
4. 来賓紹介
5. 歓迎の挨拶……………大会名誉委員長 L. 土屋 呂武
6. 物故者追悼
7. 40周年アクティビティ発表……………大会副委員長 L.木本 正人
8. 記念アクティビティの目録贈呈……………大会々長 L.山田 博巳
9. 来賓祝辞……………福岡県知事 麻生 渡様
10. 来賓祝辞……………福岡市長 桑原 敬一様
11. 来賓祝辞……………LC国際協会国際理事 L.福井 正憲
12. 来賓祝辞……………337-A地区ガバナー L.小松 弘義
13. 祝電披露
14. ライオンズロアー……………元国際理事 L.谷川 栄一
15. 謝辞……………大会委員長 L.川上 利明
16. 閉会宣言及びゴング……………大会々長 L.山田 博巳

第二部 記念講演

「明日のライオニズムに幸あれ」

元国際理事（1992～1994年）L.土屋 呂武

アル、ゴア（Al gore）は日常生活の諸変化に「緩慢に起きるもの」「急激に起るもの」の2つに加えて第3の変化として「砂山理論」を提唱している。机上に砂粒を1個づつ落し砂粒の山を作る——或る高さまで砂粒同志のバランスにより辛うじて平衡を保っているが、最後のタッタ1粒が頂上に落された瞬間大崩落が引き起される現象を力学的に証明したものである。

このことは、集団や組織において、かねて多少の不合理、不満があっても、その集積が一点を越すまで何等の変化も見えないが、ある時点鍵になる考え方方が変化すると劇的な変化がどっと一時に起きることを意味している。この現象に関する最大の不安は脅威そのものより、その脅威をどの様に認識し対面しつつあるかにある。

我々のライオンズ国際協会も創設以来実に78年、ひたすら奉仕精神を掲げて人類福祉の道へ歩をすすめて来た。然しここに於いて、我々の歩みの中に例えば会員の減少など一部にカゲリが目立ちはじめたのは残念乍ら事実である。

我々は、砂山理論的変化が起きる前に我々の置かれている位置、問題と憶することなく対面し第3の変化を未然に防ぐ必要がある。

……いや、重要なのは変化を避けることではなく之を乗り越え、更に大きな視野のもとに新しいライオニズムの世界を打ちたてるにあるのではあるまいか。

私は本日、人類の幸福とは何であるかの命題にふれながら2-3の根本的な対策を大胆に主張し皆様の御批判を仰ぎたい。

（40周年記念誌より抜粋）

第三部 祝宴

司会 祝宴部会長 L.満田 和年

福岡21ライオンズクラブ L.林田 スマ 13:00～15:00

祝宴挨拶……………大会副委員長 L.阿河 勝

祝 舞……………●寿三番叟 立方 奴 小八千代

唄 久子

糸 福若

笛 メ子

乾 杯……………神戸(ホスト)ライオンズクラブ会長 L.中右 瑛

エンターテイメント……………●世良譲トリオ with 水町理沙 (ボーカル)

ピアノ 世良 譲

ドラム ジミー竹内

ベース 横山 涼一

姉妹クラブお祝い一言

●釜山中区ライオンズクラブ

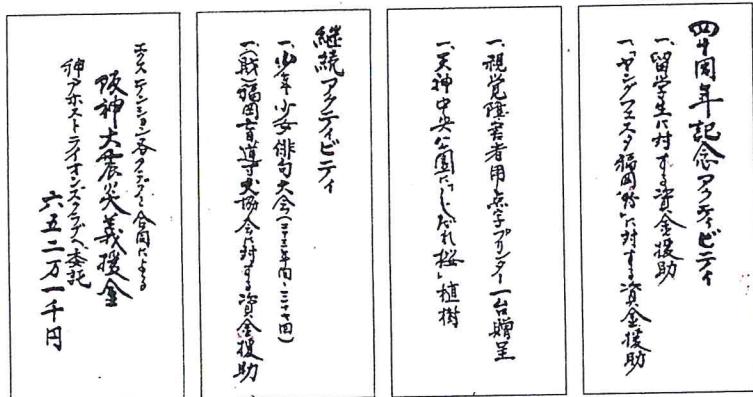
●名古屋ライオンズクラブ

●台北第一(中央)国際獅子会

終宴挨拶……………大会副委員長 L.大江敬止

また逢う日まで (全員輪になり合唱)

40周年記念アクティビティ



■留学生に対する資金援助

現在、福岡の大学には各国から多くの留学生が、出身国の援助や家庭からの仕送りなどで一生懸命勉強に励んでいます。しかし、このところの円高、物価高で学資はもとより生活のため一部の学生を除いて、アルバイトなどで頑張っていますが、かなり苦しい状況です。中には志半ばにして学業を放棄し、帰国を余儀なくされている学生も少くありません。少しでも、この留学生諸君の一助になればと、西日本新聞社を通じて資金援助を行います。

■「ヤングフェスタ福岡'95」への資金援助

平成7年10月22日（日）

県立スポーツ科学情報センター「アクション福岡」及び、周辺地域

参加者2,000名

このイベントにおいて期待されること

- ・県民運動としての青少年健全育成運動の広がり
- ・健全育成のための環境づくりを地域で考える
- ・関係機関、団体の連携強化とネットワーク化
- ・親子のふれあい、国際交流の促進

主催・福岡県青少年健全育成対策推進本部

- ・福岡県青少年団体連絡協議会
- ・福岡県町村会
- ・福岡ライオンズクラブ

■視覚障害者用点字プリンター1台贈呈

福岡市を通じて社会福祉センターへ

(NEW E8A721型)

視覚障害者の方々が共同で自由に使用できる

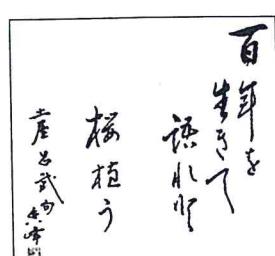
最新のプリンターです。



■天神中央公園に「しだれ桜」植樹

福岡市の中心街、天神の唯一の緑のオアシスに昭和63年、当時の337-A地区キャビネットによるアクティビティの桜の園が、見事に今年も花を咲かせました。

この桜の園がある天神中央公園に、九州では珍しいしだれ桜を植樹します。



継続アクティビティ

■継続事業 少年少女俳句大会

本事業は今期（11月）をもって37回22年に及ぶ全国でも類を見ないユニークな長期継続アクティビティです。

昭和48時に少年少女にとって一番大切な人間形成の時期に、豊かな情操、思いやりの心造りを目的として、小原青々子先生を選者にお願いして発足したものです。30回からは永田蘇水先生により今日に至っています。

この間心あたたまる多くのエピソードがうまれました。

別表の様に平成6年度、36回までに延べ学校数は3,411校、応募人員は190,497名、句数は496,667句になりました。

選者をお引受けいただきました小原青々子先生と現在の選者、永田蘇水先生に深甚の感謝を申し上げますと共にこの事業を支えていただいております関係各位にお応えすべく、継続のため努力をして参ります。

■少年少女俳句募集事業実績表

回数・年度	応 募			回数・年度	応 募		
	学校数	人員	句 数		学校数	人員	句 数
第1回 第19期 S49年	254	1,166	3,489	第19回 第20期 50年	56	2,984	7,682
第2回 第19期 4年	66	1,473	4,419	第20回 第28期 50年	58	6,638	16,770
第3回 第20期 50年	67	1,272	3,816	第21回 第29期 59年	62	3,633	9,046
第4回 第20期 50年	96	975	2,925	第22回 第29期 59年	47	5,424	13,559
第5回 第21期 51年	703	1,141	2,423	第23回 第30期 60年	50	4,363	10,907
第6回 第21期 51年	65	1,289	3,469	第24回 第30期 60年	56	6,849	17,122
第7回 第22期 52年	86	1,953	5,716	第25回 第31期 61年	63	5,460	13,650
第8回 第22期 52年	80	2,345	6,735	第26回 第32期 62年	75	9,693	25,710
第9回 第23期 53年	59	1,443	3,897	第27回 第32期 62年	62	6,298	15,744
第10回 第23期 53年	118	4,227	11,881	第28回 第33期 63年	30	7,524	18,810
第11回 第24期 54年	70	3,388	7,789	第29回 第33期 63年	78	9,058	22,644
第12回 第24期 54年	64	4,039	11,653	第30回 第34期 H1年	77	10,029	25,072
第13回 第25期 55年	82	2,707	7,308	第31回 第35期 2年	68	7,765	19,412
第14回 第25期 55年	87	5,068	14,483	第32回 第36期 2年	82	9,928	26,500
第15回 第26期 56年	69	3,388	12,964	第33回 第37期 3年	96	10,345	27,850
第16回 第26期 56年	49	4,513	12,880	第34回 第38期 4年	111	14,787	36,960
第17回 第27期 57年	62	2,868	8,454	第35回 第39期 5年	126	16,412	46,900
第18回 第27期 57年	39	4,624	12,378	第36回 第40期 6年	98	5,428	5,650

■(財) 福岡盲導犬協会に対する資金援助

視覚障害者にとって盲導犬は一心同体であり、相互の信頼は図り知れないものがあります。しかし厳しい訓練を受けて盲導犬として巣立つためには、多くのボランティアの方々や訓練所の施設等、育てるための愛情と努力は並大抵のことではありません。しかもまだまだ必要とする方々に対し不足しているのが現状です。従来スポットで行って来ましたが1962年（平成4年）より継続アクティビティといたしました。（因みに現在全九州2,000頭の盲導犬を必要としていますがまだ100頭しか活躍していません。しかも盲導犬を養成する方は7名ということです。訓練士として一人前になるには約5年はかかるそうです。）

■エクステンション各クラブと合同による

阪神大震災義援金652万1千円 神戸（ホスト）ライオンズクラブへ委託

未曾有の大震災の中心地、神戸市は九州にライオニズムのあかりを灯した神戸（ホスト）ライオンズクラブの拠点であります。私どもはスポーツサークラブである神戸（ホスト）ライオンズクラブに、被災地復興の祈りを込めてエクステンションさせていただいたクラブを通して義援金のお願いをしましたところ標記の金額を神戸（ホスト）ライオンズクラブへお届けすることが出来ました。

久留米LC	福岡博多東LC	福岡第一LC
北九州LC	福岡祇園LC	福岡第一ネスクラブ
北九州苦役LC	福岡博多シティLC	福岡リバティLC
別府LC	福岡イーストLC	福岡くしだLC
大牟田LC	福岡博多中LC	福岡鴻臚館LC
福岡博多LC	福岡舞鶴LC	福岡ふようLC
福岡博多東LC	福岡ベイシティLC	福岡天神LC
	福岡南LC	

以上のクラブの方々、ありがとうございました。

このほか、キャビネットを通じ、又はクラブ毎による義援金を届けられた各クラブに大いなる敬意を表します。

40周年式典を終えて

大会委員長 L. 川上 利明



大会名誉委員長
L. 土屋 呂武



大会委員長
L.川上 利明



大会会長
L.山田 博巳



大会幹事
L.扇山 和男

吾が福岡ライオンズクラブ40周年記念式典は不肖の身ながら私の務めは大会委員長として非才小心な私にとり、かなり重圧としてのしかり、人知れず思い煩ったものでしたが、会員一同並び婦人部の方々の真摯な協力に依り、当日は来賓として福岡県知事麻生渡、福岡市長桑原敬一、西日本新聞社会長青木秀、ライオンズ関係の来賓として現国際理事L福井正憲、元国際理事L谷川栄一外5名、337-A地区現ガバナー小松弘義、336-C地区、337-D地区、337-A地区名誉顧問会議長、337-C地区名誉顧問3名、337-D地区名誉顧問4名、337-A地区名誉顧問7名、キャビネット役員17名、神戸ホストライオンズクラブ会長、姉妹クラブの釜山中区ライオンズ、名古屋ライオンズクラブ、台北第一中央国際獅子会の各クラブ会長、福岡クラブがエキスティションした12クラブの会長等、多数会員の御臨席をいたゞき総勢418名の中で格式ある雰囲気の中、和気藹藹の式典が盛大に行なわれた事に心から厚く御礼と満腔の感謝を申し上げる次第でござります。

この40周年記念は特にL上原晁の卓越した企画により実行されて出席者の方々よりすばらしい式典であったと、たいへんな好評をいただき感激一入で、私の生涯の大きな思い出となりました。



開会挨拶



また逢う日まで

50周年記念アクティビティ

- 1.盲導犬一頭 (財)九州盲導犬協会への継続援助
- 1.少年少女俳句 第47回に及ぶ継続事業
- 1.少年少女俳句 50周年記念 記念誌作成
- 1.福岡西方沖地震義援金 姉妹クラブ名古屋ホストLCと共同支援
- 1.精華女子高校吹奏楽部アメリカ合衆国ローズパレード大会出場支援
- 1.在宅心身障害児（者）療育訓練施設「やすらぎ荘」支援
- 1.ライオンズ必携に基づく
「会員のためのわかりやすいライオンズ必携マニュアル」作成
 - ・制作基金アクティビティ
 - ・制作作業労力アクティビティ
- 1.CSFIIモデルクラブとしての基金拠出
- 1.県留学生里親基金拠出
- 1.「若獅子旗西日本なぎなた大会」支援

(財)九州盲導犬協会に対する資金援助

平成4年迄は、三役の変わることに単独アクティビティがまちまちで行われておりました。我がクラブは、全国でも類を見ないユニークな32年、47回に及ぶ長期継続アクティビティである少年少女俳句大会のみでした。私が会長時に福岡盲導犬協会に対する資金援助を継続アクティビティにしたい旨、理事会に計り承認されました。

我がクラブに属されていた故L鶴喜代二が盲導犬協会の初代理事長でもありましたし、私が御伺いした時は故緒方理事長でしたがその旨をお話しし、非常に喜んでおられた顔を今も思い出します。ついた時は訓練所も案内戴きましたが視覚障害者とり盲導犬は一心同体であり、厳しい訓練を受けて盲導犬として巣立っていくには多くのボランティアの方々や（訓練所の施設等も含め）訓練士の深い愛情と努力など並大抵の事ではできません。しかしこれまで盲導犬を必要とする障害者に対して1/10~1/15程度しか盲導犬が活躍しておりません。訓練士としても一人前になるには最低5年はかかるそうです。

L中田 徹

S57～S58	28期	1,300,000円 (一頭分)
S59～S60	30期	300,000円
H4～H5	38期	500,000円
H5～H6	39期	500,000円
H6～H7	40期	500,000円
H10～H11	44期	500,000円
H11～H12	45期	500,000円
H12～H13	46期	3,000,000円 (一頭分)
H13～H14	47期	500,000円
H14～H15	48期	500,000円
H15～H16	49期	500,000円
H16～H17	50期	500,000円
H17～H18	51期	3,000,000円 (一頭分)
計		12,100,000円



少年少女俳句

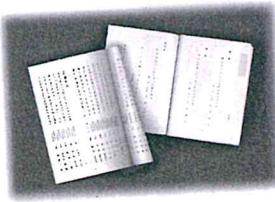
我クラブ主催の「少年少女俳句」は昭和48年秋に始まり、現在までに第46回を数える、全国でも余り例を見ない、青少年教育支援の為の継続アクティビティの一つであります。この間、選者の故・小原薗々子先生、故・永田蘇水先生、林澄山先生、池田昭雄先生をはじめ、共催の西日本新聞社、後援の福岡県教育委員会、福岡市並びに同教育委員会、それに各小中学校の担当の先生方など多くの皆様方の多大な御努力と御支援を賜つて参りました事に、改めて心から感謝申し上げます。

コンピューターを活用した情報化社会の目覚ましい発達は、人類に計り知れない利便と可能性をもたらしましたが、それに即応した精神文化教育、とりわけ情操教育は立遅れしており、それが昨今の多発する青少年非行や凄惨な少年犯罪事件の遠因の一つと成っていると言つても過言ではないと思われます。

そして、この様な状況だからこそ、日常生活の中で、自然と心情を素直に見つめ直し、それを端的に表現する「少年少女俳句」の教育的有用性は、50年前にも比して、一層増加していると確信します。

50周年という節目に当たり、我クラブ伝統の「少年少女俳句」を今後とも一層継続発展させる所存ですが、その新たな第一歩の起點として、ここに第1回から第47回の最優秀作品のすべてを収録し、また当クラブ会員が心を込めて制作した絵画と写真を添えて「少年少女俳句記念特集号」を刊行いたしました。どうぞご高覧下さい。

L 龍野 隆



少年少女俳句募集事業実績表

回数	年度	参加校数	応募句数
1回	S49年	254	3,489
2	49	66	4,149
3	50	67	3,816
4	50	96	2,925
5	51	703	2,423
6	51	65	3,469
7	52	86	5,716
8	52	80	6,735
9	53	59	3,897
10	53	118	11,881
11	54	70	7,789
12	54	64	11,653
13	55	82	7,308
14	55	87	14,483
15	56	69	12,964
16	56	49	12,880
17	57	62	8,454
18	57	39	12,378
19	58	56	7,682
20	58	58	16,770
21	59	62	9,046
22	59	47	13,559
23	60	50	10,907
24	60	56	17,122
25	61	63	13,650
26	62	75	25,710
27	62	62	15,744
28	63	30	18,810
29	63	78	22,644
30	H1年	77	25,072
31	2	68	19,412
32	2	82	26,500
33	3	96	27,850
34	4	111	36,960
35	5	126	46,900
36	6	98	5,650
37	7	84	3,156
38	8	78	2,334
39	9	89	3,139
40	10	66	2,682
41	11	80	3,127
42	12	103	3,889
43	13	70	2,631
44	14	54	2,009
45	15	46	1,565
46	16	33	1,031
47	17	45	1,684

福岡西方沖地震義援金

2005年3月20日午前10時53分福岡西方沖地震が発生した。北部九州でM7クラスの地震が発生したのは、1700年にあった壱岐対馬の地震以来、約300年ぶりである。これまでの「安全神話」はあえたが、死者1名重軽傷者925名、家屋被害4720戸ですんだことは震源が都心から離れた場所なく崩壊したが、瓦礫が散乱する玄海島の民家(2005年3月20日午後1時50分写す)(福岡市西区)(資料提供:西日本新聞社)

L安武 俊昭



玄海島



屋根が崩れ落ち、瓦が散乱する玄海島の民家
(2005年3月20日午後1時50分写す)
(福岡市西区)
(資料提供:西日本新聞社)

精華女子高校吹奏楽部 —— アメリカ合衆国ローズパレード大会出場支援 ——

ローズパレード（2006年1月2日開催）はアメリカンフットボール「ローズボウル」開催記念として行われる世界一の歴史と規模を誇るパレードでありますとともに、新年を祝う恒例の行事で、全世界から参加希望がある中、ローズ委員会の厳正な審査により、アジアからは一団体のみ招請されております。皆様方のおかげを頂きまして、ローズパレードの檜舞台に本校吹奏楽部が参加いたしますことは、吹奏楽を愛する部員たちにとりましては、技術向上を図るとともに、世界のマーチングの仲間入りをし、各国青少年との国際交流にも貢献するという教育意義も高く、また、それは出場生徒個々人の成長に大きく役立つものと確信いたしております。



精華女子高等学校 吹奏楽部顧問

藤重 佳久



L武野 晃

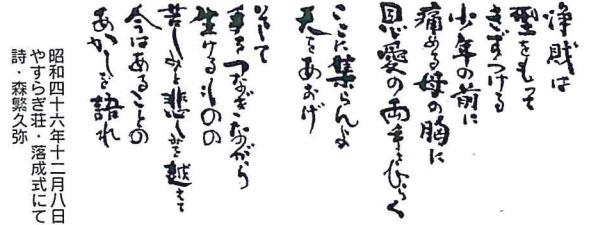


在宅心身障害児（者）療育訓練施設「やすらぎ荘」支援

やすらぎ荘は、当時私たちライオンズクラブ（全市内クラブ）が参加したもので、その記念碑もあります。初代理事長は森繁久弥さん、二代目には福岡ライオンズクラブに在籍していた、当時西日本新聞社長の福田利光さんでした。

やすらぎ荘支援に、福岡市内のライオンズクラブは、森繁久弥さん、伴淳三郎さん達と共に支えてきましたと聞いております。

L船越 洋



昭和63年5月、やすらぎ荘玄関前に建立された記念碑。
やすらぎ荘玄関前に福岡舞鶴第一ライオンズクラブと
同ライオネスクラブが建立しました。碑文は福田利光
前理事長がしたためました。

やすらぎの
人みの
鳴らす
鐘を
づけよう



やすらぎ荘をバックにみんなで朝の体操



やすらぎ荘での療育訓練。
親子訓練は、トレーナーとトレーニーと
保護者の息がピッタリです。

アクティビティ

— 会員のためのわかりやすいライオンズ必携マニュアル —

わかりやすいライオンズ必携制作にあたってライオンズクラブに入会した目的は何なのでしょう。

本来、私達ライオンズクラブ会員は職業も、環境も、社会的地位も、すべて異なる人達です。その私達はライオニズムと共に感し、「善良な徳性の持ち主で地域社会において声望のある成人」だけが、招請によって会員となっている筈です。

そうした会員によるクラブの社会奉仕、ライオンズクラブの目的を達成するためには、心をひとつにするために守らなければならないもの、それぞれの基本となるきまり（憲法）が必要です。このきまりがあるからこそ、社会、企業、団体、スポーツ、家庭の営みが成り立つのではないか。

我がライオンズクラブも然りです。私達は、国際協会、単一クラブにおいて会則・付則を体質化すること、それを間違いなく運営するために規則、規定、手順が示されています。

こういったことがなければ、いくら一人一人が奉仕の心を持ち、善良な人でも大きな奉仕の力にはなり得ません。モットーとする「We Serve」は有名無実となりましょう。

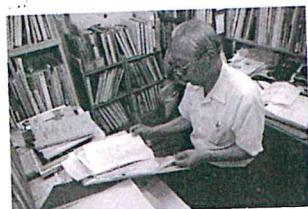
ライオンズ必携が1963年（昭和38年）に発行され、年々改良が加えられ、まさに会員の必携となりました。

このライオンズ必携を、よりわかりやすくチャート化したマニュアルを、ライオンズ必携第42版から「会員のためのわかりやすいライオンズ必携」として刊行し、多くの方々から賛同と激励をいただき第43版（44版の改訂を挿入）は、337複合地区第50回年次大会の記念品になりました。

今回2部作とした理由は、私達单一クラブが国際協会から認証を得る基本前提である国際協会の「会則・付則を遵守する限り有効である」ことを踏まえて、国際会則・付則、クラブ会則・付則の原文（英文）を挿入したことです。

なお、複合地区は会則地域であることから、日本レベルで複合地区会則として、第一章複合地区・第二章地区・第三章改正その他となっておりますが、国際協会から標準版として（複合地区、会則・付則）（地区、会則・付則）がインターネットでも検索可能であり、この原文（英文）に対して国際協会において和訳が作成されています。これも加筆することにし、以上をI部として編集いたしました。第II部は遵守すべき会則・付則によって、どのようにクラブを運営すべきか、ライオニズムの基礎的知識と規則、規定、手順等をまとめたものにしました。

主筆 L上原 晃



執務室にて



勉強会の様子

会員のための わかりやすいライオンズ必携 マニュアル

[I]

ライオンズ必携44版に基づき作成
(45版での改定内容を挿入した)

- ライオンズクラブ国際協会会則および付則
- ライオンズクラブ会則および付則標準版
- 複合地区会則 第一章 複合地区
第二章 地区
第三章 改正その他

（参考挿入）

- 標準版 複合地区会則および付則
- 標準版 地区会則および付則

本誌の特徴

(1)本誌は国際協会会則・付則、標準版のクラブ会則・付則の翻訳による表現の疑問に応えるため、国際本部による原文（英文）を該当する各頁に挿入した。

- (2)複合地区会則 第一章 複合地区
第二章 地区
第三章 改正その他

以上
第一章・第二章・第三章ともに日本レベルで編集作成されたものであり、標準版ではない。
標準版としての原文（英文）は次の(3)を参照されたい。

- (3)標準版 複合地区会則および付則。
地区会則および付則。

以上について国際協会による原文（英文）と国際協会によって和訳された内容も挿入した。
ライオンズ必携における日本レベルで作成された複合地区会則の基本になるものである。
参考にされたい。

- (4)運営については別冊（II部）を活用されたい。

337複合地区内 会則研究会

会員のための わかりやすいライオンズ必携 マニュアル

[II]

ライオンズ必携44版に基づき作成
(45版での改定内容を挿入した)

- ・ライオニズムの基礎知識
- ・会則・付則に基づいて運営するための規則・規定・手順等運営編

ライオンズクラブは国際協会より認証されるに当たり、国際協会の会則・および付則を遵守するかぎり有効であり、これに反すれば効力を失う、と認証状に記されている。

本誌はこの会則・付則に基づいてライオンズとは何か、クラブを運営するためにはライオンズ必携を主体にその他参考すべき内容をまとめたものである。

・会則・付則については別冊（I部）を活用されたい。

337複合地区内 会則研究会

福岡ライオンズクラブ50周年記念式典 アルバム



受付準備万全



インフォメーション



ライオンズレディのお出迎え



林澄山先生



来賓ご来場



開会宣言 大会会長 L.堺 光則



歓迎の挨拶 大会委員長 L.上原 晃



国歌・ライオンズクラブの歌



司会 川上美奈子 L.満田 和年

福岡ライオンズクラブ旗入場



福岡県知事代理



福岡市長
山崎広太郎様



337複合地区
ガバナー協議会議長
L.馬場 錦



337-A地区ガバナー
L.麻生 好彦



来賓紹介





アクティビティ発表 L.中田 徹



継続アクティビティ



国際会長感謝状



福岡クラブ会員表彰
L.川上 利明 L.古賀 敬之 L.上原 真



「会員のためのわかりやすいライオンズ必携マニュアル」
完成記念に会則研究会代表 L.菅原 道之より
記念品授与 L.仁田 辰治 L.上原 真



謝辞 L.古賀 敬之



ライオンズローラー
神戸ホストライオンズクラブ
会長 L.和田 勲

友好姉妹クラブと語る



司会 神崎公一郎氏
神崎
公一郎
司会 神崎公一郎氏



金山中区ライオンズクラブ
会長L.朴鍾植・第一副会長L.車俊喆



名古屋ホストライオンズクラブ
会長L.幸村龍一・元ZCL.遠山康孝
幸村
龍一
遠山
康孝



台北市第一（中央）国際獅子会
会長L.孫文華・第27任会長L.林清波
孫文華
林清波



沖縄ライオンズクラブ
会長L.上原豊充・幹事L.鳥取部邦夫
上原
豊充
鳥取部
邦夫



福岡ライオンズクラブ
大会会長L.塙光則・大会委員長L.上原晃
塙光則
上原晃

記念アトラクション

精華女子高等学校
吹奏楽部
バントワーズ



精華女子高校は

アメリカ合衆国
ローズパレード大会出場
アジアより一団体のみの
招請される。



祝宴



鏡開き



乾杯 神戸ホストLC L.鈴木治雄



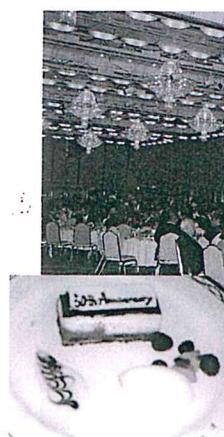
山笠「祝いめでた」手一本



スポンサークラブ、友好姉妹クラブから
それぞれお祝いの一言をいただく



祝宴スナップ



祝宴会場



祝宴開宴挨拶
大会幹事L.真田彬



終宴挨拶
第一副会長L.瀧野隆



各テーブルごと
輪になって
「また合う日まで」



ありがとうございました



記念品

- ・博多織テーブルクロス
- ・少年少女俳句集
- ・会員のためのわかりやすいライオンズ必携マニュアル〔I〕〔II〕



姉妹クラブ福岡LCの50周年を祝う

50年前、神戸LCの呼びかけに応えて25名の有志が九州の一隅に初めてライオニズムの灯をともした。福岡LC。全国で13番目。この小さな光が50年後、九州で440クラブ、会員数16,290名（2005年6月末）の巨大な光の群れとなった。その福岡LCと1988年10月、当時の福岡クラブ会長とわがクラブの故L佐藤慎一との握手で姉妹提携が実現した。昨年のわがクラブのCN50周年記念大会に福岡から13名のメンバーが駆けつけてくれた友情に応えようと、9月16日福岡市・ホテル日航福岡で開かれた50周年記念式典に19名が参加した。

「式典運営では名古屋ホストライオンズクラブに学ぶことがたくさんありました」と、ある役員が述べていたように、スクリーン2基を利用して、スムーズな進行だった。しかし当日の出席者はスポンサークラブはじめ、海外を含めた姉妹提携・友好クラブ、エキステンションクラブ、337-A地区クラブなど、総計430名の大人数。名古屋ではマリオットホテルにはとても入りきれない参加者数。できる限り多くの人に祝ってもらおうという福岡流のホスピタリティの表れに違いない。「盛り沢山」「精一杯」の善意とおもてなしを随所に感じられた。

50周年アクティビティの発表も圧巻だった。盲導犬一頭の寄贈、少年少女俳句記念誌発行（いずれも継続行事）、福岡西方沖地震義援金（名古屋ホストLCとの共同支援）精華女子高校吹奏楽部アメリカ・ローズパレード大会出場支援等々9件、1億9千万円に上る。まさに盛り沢山の善意が一杯詰まっていた。

なかでも、「ライオンズ必携」に基づく「会員のためのわかりやすいライオンズ必携マニュアル」の作成は、大会委員長・L上原晃が主筆となってチャートなどを使って「必携」を分かりやすく解説したもので、1、2部の2冊275ページの大作である。大会当日、全出席者に配布された。

大会のもう一つの特色は、記念行事として「トーク・イン・フコカ」と題して「友好姉妹クラブと語る」が行われたこと。釜山区、台北市第一中央、沖縄、名古屋ホスト、福岡各LCの各会長ら2名ずつパネリストとして壇上から発言した。テーマは「各クラブの特色・現状や課題とそれへの取り組み」と「今後の友好・姉妹クラブの在り方」。会長L幸村龍一、前ZCL遠山康孝が意見を発表した。この発言内容は資料（88ページ）として配布された。

第3部祝宴は全国大会で金賞を獲得した精華女子高校吹奏楽部とバトントワラーが出演、音楽とバトントワリングに若い情熱を爆発した。

大会前日の15日には前夜祭が行われ、祝宴とマジックショーがあった。16日は早朝からゴルフコンペと観光旅行があり、観光旅行は太宰府と海の中道・シーワールド（水族館）、佐賀県・嬉野温泉と名物湯とうふ会席を楽しんだ。九州観光のバスガイド嬢は抜群の記憶力で太宰府や黒田、鍋島藩の歴史をひもといてくれて感心した。帰りのペーパーバッグとわれわれの頭の中は、福岡LCの心のこもった善意と誠意で一杯になったことを報告する。

（L成田和雄）



福岡空港で福岡LCの暖かい歓迎を受けた
名古屋ホストLCのメンバー



福岡LC50周年式典で
友好姉妹クラブとして挨拶する
会長L幸村



計画委員長L渡辺（里）

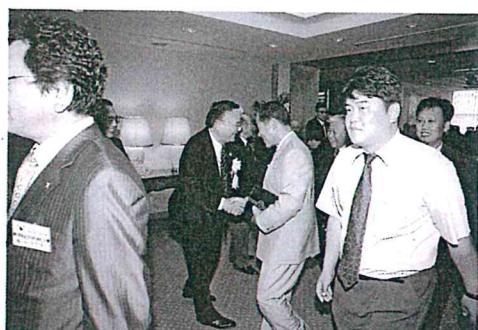
姉妹クラブの皆さんありがとうございました



他のクラブの方々は直接ホテルに直行されました。



ゴルフもお天気で何よりでした。



姉妹クラブ歓迎会へようこそ



ご挨拶をいただきました。

なごやかな楽しいひととき



姉妹クラブ部会長 hotel nikko fukuoka
L. 山田博巳
(40周年のときの大会会長でした)

